



ホッピーだより No. 445

2021 年 12 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook(@HobetsuMuseum)

2021 年の調査研究での来館者



あずまゆうだい 東 祐大氏（北海道大学）（7/13-19 ほか）大学の卒業研究の一環で来館し、カムイサウルスの化石産状の研究
を進めています（写真はカムイサウルス産地の野外地質調査）。
いっかん さんじょう ちしつちようさ

学芸補助員の紹介



2020 年 8 月から吉川幸叙学芸補助員が勤務しています。吉川学芸補助員は、小学生の頃から化石採集をしており、地元の浦河周辺で産出するアンモナイトなどに精通しています。また、アンモナイトの研究で広く知られる故・松本達郎名誉教授（九州大学）や蟹江康光元学芸員（横須賀市市自然史博物館）と交流があり、1994 年発行の当館研究報告論文著者の一人です。現在は、大型のアンモナイトなどのクリーニングを進めてもらっています。
よしかわゆきのぶ ほじょう ころ せいとう よこすか けんきゅうほうこくろんぶん げんざい おおがた

カムイサウルスのこれまで⑨



目の前にあった、不定形の石灰質ノジュールが、1メートルほどの右大腿骨を包んでいるものと分かった時。

海に流された恐竜が、流されている間に腐敗が進んだ場合、最初に下あごや頭部が脱落してしまうと考えられます。このことから、この恐竜化石は頭部なしの全身骨格かもしれないと考えられていました。こうした中で、9月20日に遊離した歯化石が発見されたことは、頭部も近くに埋没していることを示唆していました。つまり、この恐竜化石が「尾頭付き」の全身骨格である可能性が極めて高くなりました。



次々に発見された後肢の巨大な骨化石。



発見された歯化石。頭部も胴体と一緒に海底に流れ着いていたことがほぼ確実となった。

9月24日には、約1メートルの右大腿骨が発見され、この恐竜の大きさを改めて実感しました。

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

【公共交通機関による来館案内】 <http://www.town.mukawa.lg.jp/4356.htm>

(バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約10分)

往路 (札幌・苫小牧方面▶博物館)

- ・新千歳空港 10:40 ①▶穂別中央 12:03
- ・苫小牧駅 7:52 ②▶鶴川駅前 8:20 -(乗換)- 鶴川駅前 9:35 ③▶穂別中央 10:45

帰路 (博物館▶札幌・苫小牧方面)

- ・穂別中央 16:17 ①▶新千歳空港 17:40
- ・穂別中央 15:40 ③▶鶴川駅前 16:45 -(乗換)- 鶴川駅前 17:49 ②▶苫小牧駅 18:19

①道南バス 新千歳空港直行便 (1,500円) 前日の16時までに予約 (0145-45-2284) ②JR日高本線 (750円)

③道南バス 穂別鶴川線 (200円) ※各料金は大人1人分

2021年12月

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、館内を頻繁に換気しています。そのため、館内が低温になっています。低温対策をしたうえで、ご来館ください。